

令和3年度第6回岐阜県事業評価監視委員会

議事要旨

1. 日時：令和4年3月3日（木）10：00～10：30

2. 場所：オンライン会議

3. 出席委員	岐阜大学 教授 工学部	八嶋 厚
	岐阜大学 教授 工学部	篠田 成郎
	岐阜大学 教授 社会システム経営学環	三井 栄
	岐阜県弁護士会 弁護士	池田 紀子
	岐阜県森林組合連合会 前理事	石田 五秀
	岐阜商工会議所 副会頭	井手口 哲朗
	一般財団法人 岐阜県地域女性団体協議会 副会長	河野 美佐子
	岐阜県農業協同組合中央会 前専務理事	松永 政人
	公募 自営業 NPO法人 WOOD AC 理事	塩田 佳子
	公募 会社員	水谷 有香
	公募 会社員	森下 智代巳

4. 議事要旨署名委員の指名

委員長が署名委員として池田委員、井手口委員、河野委員を指名。

5. 議事

(1) 再評価実施箇所の説明及び審議

1) 道路事業 [事業主体：岐阜県]

道路改築事業（重要物流道路整備補助）「(一) 肥田下石線 土岐津・下石工区」

6. 報告

河川・ダム事業における費用対効果の確認結果について

7. 議事要旨

(1) 再評価実施箇所の説明及び審議

1) 道路事業 [事業主体：岐阜県]

道路改築事業（重要物流道路整備補助）「(一) 肥田下石線 土岐津・下石工区」

説明者：道路建設課 林課長

【審議】

篠田副委員長

シデコブシを保全するために、盛土形状から擁壁構造に変更し、また、シデコブシの個体を移植した、ということですが、移植するなら構造変更は必要なく、逆に、構造変更するなら移植は必要ないと思いますが、どのように理解すればよいでしょうか。

説明者（林課長）

シデコブシへの影響範囲やコスト面を含めて検討し、移植や、構造変更を選択しています。

篠田副委員長

つまり、路線とシデコブシの生息範囲をケースバイケースでその場所ごとに検討し一番適した方法で対応した、ということですね。

説明者（林課長）

はい、そのとおりです。

井手口委員

2点あります。1点目、総事業費155億円のうち、今後整備を進める下石工区分は97億円で約6割を占めますが、供用済みの土岐津工区に比べて延長が短い下石工区の事業費が高い理由について、2点目、将来幅員25メートルのうち暫定2車線分を今回整備する、との説明でしたが、総事業費と将来の拡幅に要する事業費との関係について教えてください。

説明者（林課長）

1点目、既に供用済みの土岐津工区は、主に山地地形で、土を切り取って道路の形を作っていますが、今後整備する下石工区は、現地形が道路の高さより低く、橋梁整備が必要となる延長割合が大きくなっています。そのためメートル当たりの建設単価が高く、それに伴って、事業費が高くなっています。

2点目、事業費については、暫定で整備する分の事業費を記載しています。なお、便益についても暫定で整備する分の効果について算出しています。

井手口委員

承知しました。ということは、あくまでも暫定整備分、片側1車線の場合の費用対効果という理解でよろしいですね。

説明者（林課長）

はい、そうです。

井手口委員

それでは、将来の拡幅については、道路規格第3種2級ということですので交通量が7千台とか1万台程度に台数が増えていけば、可能性があるというような考えでしょうか。

説明者（林課長）

現在、暫定的に2車線で整備していますが、2車線整備で現状としては効果があるという判断になります。

ただ、商業施設等の周辺の状況が今後どうなっていくのか、また、前後区間を含めた道路計画によっても大きく交通量は変わっていきますので、その時の状況で判断し、今後の整備について検討することになります。

【審議結果】

事業主体の対応方針（案）「継続」を了承する。

(2) 河川・ダム事業における費用対効果の確認結果について（報告）

説明者：河川課 岩井課長

【質疑】

特になし。

(以上)